



羽合小学校 学校通信

平成26年9月1日 NO, 67

立秋・処暑・白露

日本は温暖湿潤気候に分類され、四季の変化に富む気候だといわれます。ところが古来から日本では二四節季（にじゅうよんせつき）といって、1年を24の季節として捉えていました。季節の移ろいを細やかに捉える感性が感じられます。

8月7日は「立秋」です。この日は暑さのピークを迎えるとされる日で、この立秋から処暑までの間に少しずつ暑さが和らいでいくころとなります。

8月23日は「処暑」です。この日以降暑さは後退し、次第に涼しさを感じる季節となります。処暑から次の白露までの間を3つに分けると、「綿柎開（めんぷ ひらく）綿を包む額がひらく」「天地始肅（てんち はじめて しじむ）ようやく暑さが鎮まる」「禾乃登（か すなわちみのる）稲が実る」となって、9月1日ごろは稲が実り始めるころとなるのでしょうか。

9月7日は「白露」です。この日から「秋分」までの間、大気が冷えて露ができて始めるころとなります。

9月が始まりました。稲が実るころとなります。この季節になると次の句が思い浮かびます。

「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」

これは、稲穂が実ってくるとまるで頭（こうべ）を垂れるように見えるところから、勉強やスポーツを通じて、たくさんのことを学び、身につければつけるほど、相手に対して謙虚になっていくものだということを表した句です。

英語でも同じような表現があります。

「The boughs that bear most hang lowest.」

一番実のなっている枝が一番低く垂れ下がる

こどもたちが迎えた2学期も、やはり実りの時だと思います。実りの成果を修学旅行や学習発表会で試し、表現していきます。こどもたちにより多くの実りをもたらすことができるようにわたしたちも頑張っていきたいものです。

日本は24の季節を持つ美しい国です。

【着任のお知らせ】

1学期にお世話になりました山田麻理子先生の後任として、下田奈津子先生が着任されました。3年生、4年生の算数や高学年の家庭科を担当していただきます。4日の全校朝会で全校のこどもたちに紹介します。よろしくお願いいたします。

【離任のお知らせ】

昨年からお世話になりました野儀めぐみ先生ですが、出産のため9月5日からお休みになることになりました。4日の全校朝会で離任式を行います。たくさんお世話になりました。ありがとうございました。